

「やり切った 楽しかった」



三戸高校放送局OG3人と一緒に、カシオペアFMで卒業前の最後の生放送番組に臨む上田さん

三戸高放送局3年・上田さん

三戸

岩手県三戸市のカシオペアFMで、毎月第2・第4木曜日午後6時から放送している番組「三戸高校放送局放課後ラジオスクールパーティー」のパーソナリティーを務めてきた同校放送局3年の上田和奈さんが26日、卒業を前に最後の生放送に臨んだ。上田さんは大変なことや苦しいこともあったが、その分やり切ったという実感があり、とても楽しかった」と3年間の活動を振り返った。
(藤田幸雄)

番組は2018年4月にスタートし、この日の放送が200回目。二戸駅に併設する「カシオペアメッセなやーと」1階のスタジオから発信し、通常30分のところ、上田さんの卒業に合わせて1時間の生放送となった。
この日は、2年前に卒業した同放送局OGの山本七唯さん、齋藤春香さ

岩手のFMで最後の生放送

ん、越後萌絵さんの3人がスタジオに駆け付け、後輩の最後の放送を見守った。上田さんは「1年生の頃に一番支えていただいた先輩たち。最後に一緒に話せて本当にうれしかった」と感謝の気持ちを胸に、時折涙を流しながら思い出話を語った。

声優へのあこがれから同放送局に入った上田さん。同放送局唯一の3年生で、本年度は後輩の1、2年生4人をまとめる立場となり、企画立案や指導にも力を注いだ。「教えることに悩むこともあったが、その経験が自分を成長させてくれた。悩んだことも含めて、全てが自信につながっている」と話した。

後輩たちには「これまでに知られず、新しい放送局をつくってほしい。やったことのないことにも挑戦してほしい」とエールを送った。
上田さんは卒業後、東京の専門学校に進学し、将来はテレビ業界でドラマ制作に携わりたいことを目指している。